



## ジャガー・ルクルトとアマンダ・セイフライドが、 内なるエレガンスを讃える

太陽のように明るく、落ち着きがあり、プレシャスで穏やかな女性。フレンド・オブ・メゾンであるアマンダ・セイフライドは、静かな自信に満ちたオーラを放っています。その振る舞いは優美であり、落ち着いていて、麗しく真実を語ります。美しさは時を超えます。

映画『Mank/マンク』でゴールデングローブ賞とアカデミー賞共に助演女優賞にノミネートされたアマンダ・セイフライド。彼女がその輝かしい成功に続き、ジャガー・ルクルトから特別に依頼された写真撮影に臨み、再びスポットライトを浴びました。女性らしさを讃えたこの写真は、レベルソが誕生してから90年という節目を祝うものでもあります。

この撮影のためにジャガー・ルクルトがコラボレーションしたのは、オランダ生まれでニューヨーク在住の写真家兼アーティストでもあるアリックです。彼女は、女性ならではの視点で女性を描くことで知られています。

今回の写真でアマンダは、現行コレクションの中ムーンからピンクゴールド製レベルソ・ワン・デュエット・ムーンを身に着け、ピンクゴールドのブレスレットとバーガンディレッドのレザーストラップでスタイリングしました。そのスタイリングは、現代の女性らしさに対するアマンダ自身の考え方と完璧に共鳴しています。

「レベルソを定義するとしたら、タイムレス、革新的、純粋を挙げます」とアマンダ・セイフライドは語ります。

彼女はこう述べます。「私は、シャツやドレスに合わせても身に着けられ、自分のスタイルに合っていると感じられる時計が好きです。レベルソはその点において、常に申し分ありません。こんなに小さなケースにどれほどのディテールと芸術性が刻まれているのかを考えると、目を疑います。また、2つの面が1つのデザインの中で流れるように機能していることも素晴らしいことです。それは、一人で何役もこなす能力や独創性、才能と繊細さを引き出すために複雑な自分の個性を余すことなく表現する彼女の才能を反映しています。



---

## レベルソについて

1931年、ジャガー・ルクルトは、20世紀のデザインのクラシックとなるタイムピース、レベルソを発表しました。ポロの激しい試合にも耐えられるように作られており、すっきりとしたアールデコ調のラインと独自のリバーシブルケースを備えたこの時計は、瞬時に識別することができます。誕生から90年間、レベルソはアイデンティティに妥協することなく自らの存在を常に変化させてきました。50種類以上のキャリバーが搭載され、何も描かれていないメタルの裏面はクリエイティブな表現のためのキャンバスとなり、エナメル、エングレービング、ジェムストーンなどで装飾が施されました。2021年に90周年を迎えるレベルソは、変わることなく、その誕生にインスピレーションを与えた現代の精神を象徴し続けています。

---